

植物防疫情報第5号

令和8年9月9日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

トビイロウンカの発生に注意してください！

岡山県病害虫防除所の巡回調査において、9月3日に県中部地域の早生品種を栽培するほ場でトビイロウンカの成虫及び幼虫の発生を確認しました。現在のところ、1ほ場のみで発生が確認され、県内における発生は少ないものの（発生ほ場率 1.4%、平年値 13.0%）、広島地方気象台発表の9月3日の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多いとされており、本虫の増殖を助長する条件となります。

今後、中生および晩生品種の栽培ほ場で本虫が多発した場合、坪枯れ（写真1）被害が発生する可能性があります。中生および晩生品種を栽培するほ場では、本虫の発生に注意してください。

<防除対策>

- 1 要防除水準（成幼虫合計で株当たり 10 頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり 0.2 頭以上）を超えるほ場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫はほ場内で局所的に生息し株元を好むため、調査に当たっては、ほ場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- 2 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、表の単剤あるいはその成分を含む 有する混合剤を安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するように留意する。
- 3 収穫期に近い場合、薬剤散布は農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。



写真1 坪枯れ（令和4年9月13日撮影）



写真2 株元に発生したトビイロウンカ
（令和4年9月13日撮影）

表 水稻におけるトビイロウンカの主な防除薬剤 (令和8年9月現在)

薬剤名	希釈倍数（使用液量）・使用量	使用時期 (収穫前日数)	使用方法	本剤の使用 回数	有効成分の総 使用回数	IRAC コード			
キラップフロアブル	1,000～2,000 倍（60～200L/10a）	14 日前まで	散布	2 回以内	2 回以内（は種時（直播）又は移植時までの処理は 1 回以内）	2 B			
	500 倍（25L/10a）		空中散布無人ヘリコプターによる散布						
	8～16 倍（0.8L／10a）								
	キラップ粉剤D L						3～4 kg/10a	散布	
キラップ粒剤	3 kg/10a	湛水散布							
トレボンEW ¹⁾	1,000 倍（60～150L/10a）	14 日前まで	散布	3 回以内	3 回以内	3 A			
	300 倍（25L/10a）								
トレボン乳剤 ¹⁾	1,000～2,000 倍（60～150L/10a）								
	300～600 倍（25L/10a）								
なげこみトレボン ¹⁾	水溶性容器 10 個（500ml）／10a	5 葉期以降 収穫 21 日前まで	本田に水溶性容器のまま投げ入れる。						
トレボン粉剤D L ¹⁾	3～4 kg/10a	7 日前まで	散布						
トレボン粒剤 ¹⁾	2～3 kg/10a	21 日前まで							
トレボンスカイMC ¹⁾	16 倍（0.8L／10a）	14 日前まで	空中散布						
スタークル・アルバリン粉剤D L	3 kg/10a	7 日前まで	散布	3 回以内	4 回以内（育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計 3 回以内）	4 A			
スタークル・アルバリン顆粒水溶剤	3,000 倍（60～150L/10a）								
スタークル豆つぶ	250～500g/10a								
スタークル・アルバリン粒剤	3 kg/10a								
スタークル液剤 10	8 倍（0.8L/10a）		無人航空機による散布						
エクシードフロアブル	2,000 倍（60～150L/10a）	7 日前まで	散布	3 回以内	3 回以内	4 C			
	500 倍（25L/10a）		無人航空機による散布						
	16 倍（0.8L／10a）								
エクシード粉剤D L	3 kg/10a		散布						
エミリアフロアブル	1,000 倍（60～150L/10a）	7 日前まで	散布	2 回以内	3 回以内（直播での種時又は移植時までの処理は 1 回以内、本田では 2 回以内）	4 F			
	250 倍（25L／10 a）		無人航空機による散						
	8 倍（0.8L／10a）								
エミリア粒剤	1 kg/10a						湛水散布		
オーケストラフロアブル ²⁾	1,000 倍（60～150L/10a）	7 日前まで	散布	3 回以内	3 回以内	UN			
	200 倍（25L／10 a）		無人航空機による散布						
	16 倍（1.6L／10a）								
	8 倍（0.8L／10a）		無人航空機による散布空中散布						
	30 倍（3L／10a）		空中散布						
オーケストラ粉剤D L ²⁾	3～4 kg/10a		散布						

1) 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用は避ける。

2) ウンカ類幼虫での登録である。

農薬を使用する前には、必ず農薬ラベルの記載内容を確認するとともに、各単剤の有効成分を含む農薬の総使用回数を守る。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、農薬飛散に注意するなど、安全・適正に使用する。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

